

平成 29 年 10 月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

平成 29 年(2017 年)10 月 18 日(水) 午前9時 48 分から 10 時 52 分まで

2 場 所

中央公民館 応接室

3 議 題

(1)協議(審議・検討)

議案第 24 号 就学援助費支給の認定について

(2)報告

ア 教育課

(ア)いじめ、不登校の状況等について

(イ)QU結果について

イ 生涯学習課

(ア)東御市立図書館の評価項目の中間検証について

4 出席者

○教育長 牛山廣司

○委員

教育長職務代理者 下村征子

委員 小林経明

委員 小林利佳

委員 直井良一

○事務局

岩下教育次長、小林教育課長、勝山生涯学習課長

小林学校教育係長、柳橋青少年教育係長

小山指導主事

小宮山図書館係長

会議録

開会宣言

牛山教育長

ただいまから、10月定例教育委員会の開会を宣言します。

岩下教育次長

教育長からごあいさつをお願いいたします。

牛山教育長

中学校では、学芸発表会や中間テストが終わり、3年生を中心に進路に向けて一生懸命勉強し、目標を決めていくという状況です。

小中学校においては、教育委員の皆様からご意見を頂き、学習に対して静かに、そして集中することができる生徒になってきています。長い時間をかけて成果が見えてきている、この頃です。ただ、集中している学習の態度や教室の雰囲気の中で、静かに子ども達が悩んでいたたりすることもあります。そのようなところもしっかり見ていかなければならないと思います。要するに、良い時をどのように維持し、育てていくか。必ず次の波がというか、上手くいかない状況が訪れることがありますので、いじめ、不登校の状況や学力等を注視しながら、教育委員会で早めの対応を心掛け進めていければよいと思います。

本日はよろしく申し上げます。

岩下教育次長

ありがとうございました。それでは議題につきまして、教育長の進行をお願いいたします。

牛山教育長

はい。協議に入ります。

(1)協議(審議・検討)

議案第24号 就学援助費支給の認定について〈非公開〉

個人情報に関係もありますので非公開とします。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

牛山教育長

それでは、非公開とします。

つづいて(2)報告 ア 教育課(ア)いじめ、不登校の状況等についてお願いします。

小山指導主事

不登校等の児童生徒の状況(平成 29 年度9月末現在)、及びいじめ・いじめと思われる把握件数集計表(平成 29 年9月)について報告します。

(説明内容 非公開)

牛山教育長

ご質問ありますでしょうか。

小林経明委員

15 人に1人は潜在的に発達しょうがいと言われており、配慮が必要であると言われていいます。東御市には民間の児童発達支援事業を行う施設はありますか。

牛山教育長

東御市にはありません。

小林経明委員

ニーズはあると思います。近隣市町村へ通っている児童がいるのであれば、検討してください。

小山指導主事

ことばの教室等、通級指導教室等も、利用していただいている状況です。

牛山教育長

民間の施設を利用している実態を把握する必要があると思います。

小山指導主事

わかりました。確認して報告します。

牛山教育長

小林経明委員から 15 人に1人は特別配慮が必要な子どもたちの話がありましたが、学校により格差があり、県のデータを元に市としてまとめているところです。また、提示したいと思います。不登校や長期欠席の子どもが増えてきています。学校の理由も背景に見えてきます。もう少し時間をかけて、分析したいと思います。特別に配慮が必要な子どもたちの数が増えてきたのには、よく見る目が育ってきたということもあります。基準があって見るわけではなく、感覚での判断ということになります。関係性が良いと減るということもあります。詳細について分析していかなければ

ならないと思います。

下村委員

昨日、女性教育委員の研修においてSSWの講演をお聞きして、一番問題と感じたのは家庭の貧困による不登校です。色々なことが絡み合い、問題が発生しています。

牛山教育長

中学校では、個別指導の支援をしていただいています。任せきりではいけないと思います。家庭とのコーディネーターは教頭先生であり、福祉に繋ぐ役割を果たし、週に何回かは支援会議を開いて家庭との連携に努めるようにしておりますが、よい兆しは難しいようです。静かに学習に専念している一方で、家庭の問題で困っているということもあります。授業中に学校応援団に入っていると思いますが、十分機能しているかどうか、課題にしないでほしいと思います。学習についてこられないことがきっかけになっていることも考えられるので、手を入れていくことも考えています。もうしばらく時間はかかりそうです。

小山指導主事

少しでも前に進める方向を考えたいと思います。学校支援の先生と面談し、方向性を確認しながら、学年との連携を深めていけるよう進めていきたいと考えています。支援の先生にまる投げにならぬように、担任、学年とのチームを組み、打合せをし、配慮を要する生徒には皆で係わるようにする関係づくりが大切であり、視点を変える必要があると感じています。

また、グループの話し合い、自分で資料を見つけ出して追及してみる、生徒におもしろかったと実感できる、分かるような授業づくりをしていくことも大切です。

様々な声を校長先生に伝えながら、職員指導に繋げていただければよいと思います。

牛山教育長

(イ)Q-U結果についてお願いします。

小山指導主事

平成29年度 前期Q-U結果のまとめについて報告します。資料説明。

中学校2校中の1校はアセスという検査を実施しました。今後の検査結果を見まして、アセスへの変更も検討しています。

小学校においては、学級の実態を把握すると共に「積極的に声をかける」「励ます」「意図的・計画的に場を与える」など、自己肯定感を高め、頑張ったことを学級全体に広め、一人ひとりが大切な存在であることを学ばせると共に、配慮児童に寄り添える指導を粘り強く重ねていくことが求められているということを校長会、教頭会を通して伝えています。

中学校においては、各学年の「学級生活不満足群」の「要支援群」の生徒に配慮しつつ、「声

け」や「励まし」で、友人同士との横の繋がりを太くしていく学級づくりが求められていることを伝えていきます。

直井委員

2校中、1校の中学校はQ-U検査を実施していないのですか。

小山指導主事

今回は県の指定を受けて、Q-Uとは違う検査を実施しています。

牛山教育長

Q-Uを実施せず違う検査を行ったということですか。指定を受けて検査を行うことは悪い事ではないが、次年度を考えたときに同じ検査を継続的に実施した方がよいのではないのでしょうか。検討を要します。

小山指導主事

アセスは担任や、学年が分析するようになります。業者により分析したものをそのまま使うよりは、担任にとっては身近に感じるものになるのではないかと思います。

県の指定にもなったということで、二つの検査を実施することはできないためQ-Uは実施しません。検討させていただきます。

牛山教育長

Q-U検査の結果について、今日まとめが出てきましたが、実際に学校で終了し、活用できるのはいつになるのでしょうか。

小山指導主事

11月の校長会で提出いただき、学校の対応を進めていただく予定です。

牛山教育長

理想は、1学期中に結果を出し学級運営に活かせるようにしていただきたいと思います。

小林経明委員

個別に問題点を浮き彫りにした方がよいと思います。平均値しか出てこないのも全体では安心してしまいますが、突出しているところがあるはずで。この会議では、良いところや、問題のある悪いところ分かるように出していただくようにしていただきたいと思います。

下村委員

校長先生には問題点をお知らせしますか。

小山指導主事

各学校での実態を把握し活用するようにしています。

牛山教育長

Q-Uについても検討会を学年ごと、行っています。

各学校で学級原案をまとめていただき提出しています。そのときにこのような事例をピックアップして出していただけると活用していることが分かります。CRTと同等に、学級運営に活かしていることが分かります。

教育委員の皆さんへお示しするときは、全体的なことに併せて事例的な実態、学級原案とQ-Uの結果というように出していただくと、分かりやすいと思います。

小山指導主事

わかりました。

牛山教育長

イ生涯学習課（ア）東御市立図書館の評価項目の中間検証についてお願いします。

小宮山図書館係長

東御市立図書館の評価項目中間検証について報告します。東御市立図書館は開館から5年目を向え、節目の年ということで図書館の自己評価を取り入れることとしました。図書館設立に掲げた「基本理念」に基づき、事業を達成できるように目標を掲げ、年度末の実績を元に自己評価、図書館協議会より外部評価を受け中間検証を行いました。

東御市「総合計画」に基づく評価

情報の収集・提供の拠点としての図書館の充実

ア 図書館利用者の増加

イ 蔵書の充実

ウ 市民ニーズの把握

エ 図書館評価について

東御市立図書館「基本理念」出会いを楽しむ学びと創造の拠点づくりに基づく評価として

- 1 読書や学習活動を支え、出会いと交流を楽しむ図書館
- 2 地域の情報拠点、暮らしや仕事に役立つ図書館
- 3 学校、家庭、地域との連携で子どもたちを育てる図書館
- 4 地域文化を創造し、市民協働による図書館 資料説明。

この中で今年度実施してよかったのが自主的イベント企画の補助です。市民からの持ち込み企画で「親子工作」は好評でした。今後もこのような行事を取り入れていく予定です。

直井委員

移動図書館は利用者が少ないのではないのでしょうか。車も古くなっているようですが。

小宮山図書館係長

車は合併時新しく購入しました。かなり老朽化は進んでいます。概ね2km以上の地域を回るようになっています。人の少ない地域を結んでいます。毎週水曜日に運行し、約6,800冊の貸し出しがあります。本館利用者とともに、図書館車での利用数も少しずつ減少しています。

小林経明委員

民業圧迫という観念で図書館は検討されていますか。

小宮山図書館係長

市内業者より購入しており、圧迫している認識はありません。

小林経明委員

電子図書については考えていますか。

小宮山図書館係長

考えておりません。DVD、CD等金額も高価なため本を沢山購入した方がよいと考えています。

小林経明委員

ネット上の「青空文庫」等、著作権が切れているような本が何万冊とありますが利用を考えていますか。また、アーカイブについてはどのように考えていますか。

小宮山図書館係長

電子的保存の考え方は今のところ出ていません。

牛山教育長

本日の中間検証では、図書館協議会での評価、意見をいただいておりますが、最終的にはこの評価を総合計画の見直しに活かすということでしょうか。或いは、ダイレクトに図書館のあり方の方向を考えていくのか、どちらが一番主となりますか。

小宮山図書館係長

総合計画が主です。

牛山教育長

時代は変わります。利用者が少なくならないような議論が必要だと思います。

岩下教育次長

東御市立図書館「基本理念」の大目標がこれまで4項目しかありませんでした。理念はあっても具体的に何をやるのか、が無かったため目標を掲げってみました。今回、ここに掲げてある目標についてもこれでよいのか、の議論をしながら試行的に行い、評価を行い、また意見をいただき今後このようなことを目指していきたいということがあれば、今後の課題として次の目標ができればよいと思います。

小林経明委員

よく出来ていると思います。

下村委員

先日の自主イベントの朗読会に参加させていただき、楽しかったです。

小宮山図書館係長

朗読の講座を図書館で開いており、卒業生の皆様が発表する場となっています。大人が大人に向けての朗読となっていて、子どもに向けての絵本の読み聞かせとは違い、味があるものになっています。

牛山教育長

多方面で活動内容を増やしていることが伺えます。教育委員会では図書の充実、運営のあり方、新しい企画について等、このようなものを通じて議していければよいと思います。大きな事については総合計画で活かし、図書館の本来のあり方についてはそちらにお任せするということです。

本日の議題は以上です。10月定例教育委員会を閉じさせていただきます。